

診療情報管理課程通信教育募集要項

診療情報管理課程通信教育第 64 期生募集

診療情報管理士

診療情報管理士とは、診療記録および情報を適切に管理し、そこに含まれるデータを加工、分析、編集し活用することにより医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門的職業である。

米国では 1932 年に Medical Record Librarian として発足し、現在は登録病歴管理者 R. R. A. Registered medical Record Administrator という称号の専門職として養成されている。

わが国において、医療の質の向上につとめている病院にとって、診療記録に含まれているデータや情報は診療上からも研究上からも病院経営からも重要な記録で、これを病院の公式記録としてしっかり管理すべきであることは当然である。

(社)日本病院会は昭和 47 年から基礎課程・専門課程各 1 年 (計 2 年) の通信教育により、診療録管理士の養成課程を開講し、今までに 2,232 名を認定してきた。平成 8 年には診療情報管理通信教育として (財) 医療研修推進財団との認定となり、認定者合計 6,773 名を養成し、今年度より (社) 全日本病院協会、(社) 日本医療法人協会、(社) 日本精神科病院協会が加わり四病院団体協議会で認定を行うこととなった。

受講資格ならびに受講内容

1. 基礎課程受講資格 短大卒以上で

原則として短期大学または専門学校卒業以上の学歴を有する者。

ただし、現在、病院に勤務している者は、当分の間、高卒者でもよい。

このうち一部病院勤務でない者は後述の病院実習を必要とする場合がある (第 7 項参照のこと)。

2. 専門課程受講資格

(1) 医師・看護師 (准看護師除く)

(2) (社) 日本病院会指定専門学校 (裏面、指定校参照) 生のうち基礎課程認定試験合格者

3. 申込方法

- ・ 申込用紙 日本病院会指定の用紙とする。
- ・ 履歴書 市販のものを使用、写真貼付のこと。
学歴、職歴 診療情報管理業務にある者は、職歴を詳述のこと。
- ・ 申込締切日 第 64 期生の申込受付は、平成 15 年 11 月 30 日までとする。

4. 実施要綱

- (1) 修業年限 基礎課程 1 年 } 計 2 年
 専門課程 1 年 }
留年期間は受講期間の倍とする。
- (2) 受講者選考 書類審査
- (3) 受講料 1 年 100,000 円 (前・後期 2 回分納可)
受講受理通知を受けてからの納入のこと。
既納の受講料は返却しない。
- (4) 資格 専門課程修了者は四病院団体協議会 ((社) 日本病院会、(社) 全日本病院協会、(社) 日本医療法人協会、(社) 日本精神科病院協会) および (財) 医療研修推進財団の認定診療情報管理士として登録する。

5. 履修科目

基礎課程 (1 年次) 12 科目・24 単位

医療概論

人体構造・機能論

臨床医学総論 (外傷学、先天異常等含む)

臨床医学各論 (感染症および寄生虫症)

臨床医学各論 (新生物)

臨床医学各論 (血液・代謝・内分泌等)

臨床医学各論 (脳神経・感覚器系等)

臨床医学各論 (循環器・呼吸器系)

臨床医学各論 (消化器・泌尿器系)

臨床医学各論 (周産期系)

臨床医学各論 (筋骨格系)

医学用語

専門課程 (2 年次) 12 科目・24 単位

医療管理総論

医療管理各論

医療管理各論

医療情報学

医療統計学

診療情報管理論

診療情報管理論

分類法総論

分類法総論

分類法演習

分類法演習

分類法演習

病院実習 (2 週間) (7 項参照)

6. 単位修得方法

- (1) 上記の履修科目の基礎課程 24 単位、専門課程 24 単位を修得することが必要。

[単位の修得方法]

各テキストを読了してレポートを提出
所定のスクーリングへの出席
各期末試験に合格する。

- (2) レポートの作成

学習スケジュールに従って教科書とレポート問題が送付されるので、自習しながらそのレポートを作成する。それを期日（月報で通知）までに会へ送付すると添削され本人へ返送される。各課程の全レポートの提出のない場合は、学習しなかったとみなし各期末試験はうけられない。

- (3) スクーリング（面接講義）

スクーリングは1年に3日間コースを夏期 8月（福岡会場）・9月（大阪会場）・10月（東京会場）と冬期 2月（大阪・福岡会場）・3月（東京会場）の2回東京地区・大阪地区・福岡地区で開催する。このスクーリングは1年を単位として、前期と後期合計で6日間を、いずれかの会場で出席しないと期末試験を受験できない。

ただし、勤務の都合でスクーリングに出席できなかった場合は、出席日数の1/3に限り通信教育委員会が行う補講および次項の各地の研究会・セミナーへの参加をもって出席を認める。（1回3時間1/2日分、4時間以上1日分とする）

- (4) 各地の指定研究会・セミナー

スクーリングの他、勉強会（日本病院会）および各地で開催されている日本診療録管理学会、北海道診療録管理研究会、宮城県診療情報管理研究会、福島県診療録管理研究会、新潟県診療録管理研究会、北陸診療録管理研究会、福井県診療録管理懇話会、東海診療録管理研究会、近畿病歴管理セミナー、四国診療情報管理セミナー、九州診療録管理研究会、九州診療情報研究会、日本診療情報管理士協会、日本診療情報管理機構、診療情報管理東京ネットワークの各研修会でスクーリングの出席代替として認められた講習会は、スクーリング単位補充（年間6日間のスクーリングに対し2日まで）として利用することができる。

- (5) 期末試験

試験は毎年2回（夏期・冬期）のスクーリング時に東京・大阪・福岡で行う。試験は各課程の学期末に受験する。（専門課程認定試験は基礎課程試験合格の1年後とする。）

- (6) 合否の判定はこの試験にもとづき通信教育委員会で行う。

7. 実 習

1項の一部受講者は、日本病院会指定の各地の病院において2週間の病院実習を行い履修証明を提出する。ただし、当分の間、希望者のみとする。

8. 申込及び問い合わせ

日本病院会診療情報管理課程通信教育

〒102-8414 東京都千代田区一番町 13-3

電話（03）3265-1281（通信教育課直通）

郵便振替

00190 - 5 - 396045

社団法人 日本病院会通信教育部

日本病院会では、診療情報管理士育成において下記の大学、専門学校（3年制以上）を指定している。

診療情報管理士認定試験受験指定大学（5大学）

1. 国際医療福祉大学（栃木）
2. 藤田保健衛生大学短期大学（名古屋）
3. 鈴鹿医療科学大学（鈴鹿）
4. 川崎医療福祉大学（倉敷）
5. 広島国際大学（広島）

診療情報管理士認定試験受験指定専門学校（3校）

1. 京都栄養医療専門学校（京都）
2. 福岡お茶の水医療秘書福祉専門学校（福岡）
3. 淵上医療福祉専門学校（福岡）

診療情報管理通信教育専門課程編入受験指定校（19校）

1. 北海道ハイテクノロロジー専門学校（北海道）
2. 東北文化学園専門学校（仙台）
3. 早稲田速記医療福祉専門学校（東京）
4. 国際医療管理専門学校（東京）
5. 東京医薬専門学校（東京）
6. 東京豊島医療秘書福祉専門学校（東京）
7. 日本医歯薬専門学校（東京）
8. お茶の水医療秘書歯科助手専門学校（東京）
9. 新潟医療テクノロジー専門学校（新潟）
10. 国際医療管理専門学校（浜松）
11. 国際医療管理専門学校（名古屋）
12. 京都保健衛生専門学校（京都）
13. 大阪医療技術学園専門学校（大阪）
14. 日本医療秘書専門学校（大阪）
15. 関西医療技術専門学校（大阪）
16. 大阪医専（大阪）
17. 専門学校国際医療福祉総合学院（広島）
18. 淵上医療福祉専門学校（福岡）
19. 鹿児島ハイテク専門学校（鹿児島）

以上、平成15年7月26日現在